

そよかぜ通信

第265号

発行

2022年7月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信
〒182-0032 調布市西町290-4

TEL 042-481-7663

FAX 042-481-7074

URL <http://www.jigyodan-chofu.com/soyokaze/>
ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。



活動の一場面写真館 ～ 陶芸班編 ～



ビーズ作品もさらに種類を増やして力を入れています☆三

外へウォーキングに行ったり、室内でバランスボールや職員につかまってスクワットをするなどして健康維持にも取り組んでいます☀



粘土を伸ばして、柄づけには個性も光ります🌟

ご利用者さんが作った作品は、そよかぜ玄関やちょうふだそう等で絶賛販売中です🎵ぜひ一度お手にとってご覧ください!



プレスレット



ヘアゴム

カチューシャ



三日月とれんこんのはしおき



陶器のヘアゴム



今月のキラリ☆一番星!

今月のキラリ☆一番星は、
Mさんです!



そよかぜとはこんなところ

そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の方が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前には織物、陶芸等の作業、午後には運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。



陶芸班の仲間たちと📷



水曜クラブでのゲーム♪



高幡不動尊にて



職員リレーコラム♪明日は明日の風が吹く?!

密かな楽しみ

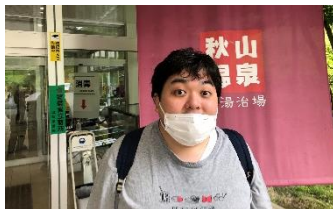
田中美代子



私にとってはカリスマ主婦的存在でした。そんな義母が脳梗塞を発症してから3年半が経ち症状は落ち着いているものの、ふらつきや認知症が出て来てしまいました。現在、ちょこちょこ義父母の家のある茅ヶ崎に通っています。そんな私の癒しは海を見に行くこと。周りは山ばかりの群馬県出身の私は昔から海への憧れがあり、ここはサザンオールスターズの歌の聖地、湘南なのです! (笑)
早朝散歩が趣味なので、宿泊した翌朝は暗いうちから車を飛ばして江ノ島まで行くか、車がない時は家からサザンビーチまでのウォーキング。エボシ岩やサーファーを眺めて帰ります。夜明け前の静寂な空の下、波の音を聴きながら幻想的な朝を迎え、朝日に手を合わせると感謝の気持ちが自然と湧き出て来ます。江ノ島では江ノ島神社から諸々の神社を参拝しての島内一周ウォーク。アップダウンの末に突然開けて、海と富士山と空が広がる絶景はいつ来ても感動もの! 浜辺の赤い橋を渡り神様が現れたという洞窟の前でお祈りを済ます頃にはもう日も随分と高くなって来ています。義母が心配するといけけないので、きつい坂道をダッシュして戻るのは常日頃(汗)体力の衰えを実感させられますが、目の前の雄大な富士山を見ながら海沿い134号線を車で走らせる帰路は疲れも吹っ飛び、頑張っている自分へのご褒美として、この密かな楽しみは当分やめられません。

課題学習が再開されました!

利用者さんおひとりにつき年1回の実施となりますが、3年弱ぶりに課題学習を再開しました。新型コロナウイルス感染に気を付けて実施していきます。



山梨県上野原市の秋山温泉♨

PCR検査、やっています。

定期的を実施しています。利用者さん達も、最近ではすっかり検査に慣れて、口を大きく開けてくれています。



引続き消毒作業等の感染対策も行っています。

